

Dr.KOのメッセージ

～生命の治療が私の使命～

私はこれまで、難治性疾患、特に疼痛治療の為に自分の人生を捧げるつもりで医療に携わって参りました。九州大学病院で麻酔科、国立九州がんセンターで放射線科、そして福岡で内科医として治療に当たってきた中、私に与えられた課題は常に「痛み」というテーマでした。その間、東洋医学に関心を持ち、上海中医薬科大学で研修した後も、痛み治療に対して独自に研究を続けて参りました。その集大成として、体だけでなく病の根底にある生命の治療をももたらす「遠絡療法」という治療理論を確立し、現在難治性の疼痛に苦しむ人々の治療にあたり、高い確率で効果をあげています。

痛みは、あるときはその人の人生までも狂わせます。特に原因不明の疼痛を抱えて多くの病院をたらい回しにされてきた患者様にとっては、「なぜ自分だけがこんな目に遭うのか」、「どうせどこに行っても治るはずがない」、と半ば自暴自棄になり、人を恨み世を恨むというような精神上的苦痛が追い討ちをかけるのです。私にはそのような患者様の気持ちが手に取るようにわかります。いえ、分かるのではなくて自然に患者様の生命の状態を把握して、その患者様が安心して治療を受けられるような言葉が出てくるのです。それは私が「体」の治療だけでなく「生命」の治療ということに重点を置いているからです。特に難治性の疾患や疼痛は、医療行為だけでなく、まず患者様自身の生命力を回復させなければなりません。患者様が病気を恨むだけでなく、暗い思いで人生を嘆きながら生きているようでは、生命力が回復するはずもなく低下するばかりです。

私は患者様を治療する前に必ずお話させて頂くことがあります。「あなたは自分の病気を真剣に治すつもりがありますか？あなたが決心しさえすれば、私にはあなたを治す力があります。けれどもあなたが心を曲げてしまっているままでは、治療は効果をあげません。生命のエネルギーはあなたの外にあるのではなく、あなた自身の内にあるのです。治療する私と治療されるあなたとが、お互いに力を合わせれば必ず病気を克服することができます。」と。遠絡医学は身体の病気だけでなく、心の病も治すことができるのです。

病状というものは医学知識と観察力があれば判断できることです。「遠絡療法」は地道な研究の積み重ねから開発された新しい治療理論であり、正確な診断と治療技術を誇るものです。しかしその根幹にあるものは、その人の「生命」の治療です。生命の治療は、苦しむ人を助けたいという愛の心です。遠絡療法の究極の目的は、全世界の難治性の疾患や疼痛に苦しむ人々をその苦しみから救うことです。そのためには、自らの命を捨てる覚悟で全てをかけてその使命にあたらなければなりません。

病を治し、人を救い、生命の再生を目指す。たとえそれがまだロウソクのような灯りであるとしても、世界中の苦しむ人々に光をあたえるため、日々決意を新たにして臨床に臨むのです。